

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年10月3日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません」

ヤコブの手紙 1章22節

4、けさも わたしの（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ルカによる福音書 24章13～35節

『ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから60スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。話し合い論じあっていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。……一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った』

おはなし 「イエス様からの語りかけを聴こう」

大日南隆夫先生

皆さんおはようございます。

・ありえないことは信じられない私たち

約76年前に日本で戦争がありました。私たちは経験していませんが、戦争の映像や戦争を経験した人の話を聞いて“本当に戦争があった”と信じることができます。

しかし、私たちは自分の目で見ていないことや、実際に経験していないこと、ありえないことを聞かされると、本当かな？と疑ってしまいます。

・イエス様に気づけなかった二人の弟子

今日の聖書箇所はイエス様が私たちの罪を赦すために十字架につけられて死んで下さった後、三日目に墓から復活されて弟子たちの前に現れ、復活したことを人々に示して下さった場面です。

（17節）この二人の弟子は、エルサレムから約11km離れたエマオという村に向かっていました。暗い顔をしてエルサレムで起きた出来事を一緒に歩いてくれた人に話しました。

『イエス様が十字架で死んで墓に入れられ、三日目になります。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、「イエスは生きておられる」と告げたと言うのです。』

・神様が私たちの心を開いてくださる時、復活を信じることができます

(30 節)、食事の席で、イエス様がパンを裂いて弟子に渡された時、「すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった」

私たちの心から不信仰が取り除かれたので、目の前のお方がイエス様だと分かったのです。

二人の弟子はイエス様が本当に復活して現れて下さったので暗かった心が明るくなりました。

イエス様の復活は救い主の誕生と共に、普通の人にとっては信じにくい出来事ですが、神様に愛されている私たちは信じることができます。

イエス様は私たちといつも共にいて下さいます。

今週も、感謝のお祈りをして、神様に見守られながら過ごしましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

39、かみよわたしの (こどもさんびかをお用ください)